

令和5(2023)年度 農業試験場野菜研究セミナー開催要領

1 目的

野菜関係の研究成果及び高温対策技術を県内の生産者や農業関係者及び普及指導員等に広く情報提供するとともに、参加者からの質疑を通じ生産現場の声を今後の試験研究に反映することにより、現場に密着した研究開発と成果の普及を通して本県農業の振興を図る。

2 日時

令和6(2024)年2月27日(火) 13:15~16:20 (受付 13:00~本館1F)

3 場所

農業試験場本館多目的ホール、研究ほ場

(宇都宮市瓦谷町1080、TEL:028-665-7142、FAX:028-665-1759)

4 内容

(1) 室内検討 13:15~

○高温による影響と今後の対策

13:20~ 40: 令和5年の気象概況と野菜類の被害状況

○高温対策技術の事例紹介

13:40~ 55: トマト夏季安定生産に関する技術について

13:55~14:10: トマトフザリウム株腐病について

14:10~ 25: さといも湛水畝立て栽培技術について

14:25~ 40: にらの品種育成の状況について

○成果報告

14:40~ 55: さつまいもの多収栽培技術について

14:55~15:10: 加工・業務用ブロッコリーの多収栽培技術について

15:10~ 25: 質疑応答

○情報提供

15:25~ 40: 生産振興課

(2) ほ場検討 15:50~16:20 (2班に入れ替え制:各品目15分程度のほ場見学)

・にらの新品種育成状況等

・トマト新規施設(次世代型ハウス)における研究状況

(防疫上の都合により施設外部から窓越しでの見学となる棟もありますことご了承ください)

5 参集範囲

生産者、栃木県農業士会トマト部会、栃木県農業士会野菜部会、県内JA(営農指導部、生産部会)、JA全農とちぎ、(一社)とちぎ農産物マーケティング協会、県内農業関係高校、農業大学校、県(農政課、経済流通課、生産振興課、経営技術課、各農業振興事務所、農業環境指導センター)

※室内検討はWeb配信を行いますので、どなたでもご自由にご参加ください。

当日、時間のズレが生じる場合もありますが、その場合はご了承ください。